令和5年度榛東南部こども園自己評価結果

1　教育・保育目標

元気な子　／　心豊かな子　／　考えられる子

2　今年度の重点

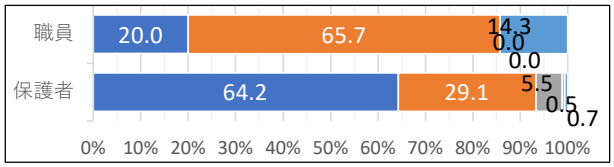
◎見て分かりやすい表示や安心できる空間作りなどの工夫をすることによって、誰もが過ごしやすい環境を構成する。（ユニバーサルデザインの見方考え方を生かす）

◎命令や禁止、否定的な言葉掛けはせず、肯定的な言葉掛けを行い、子どもたちの「やってみよう」という意欲を育てるようにする。

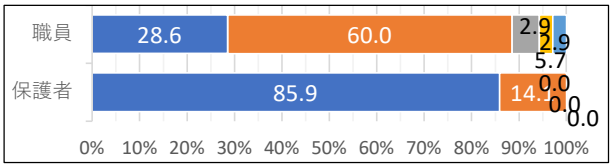
3 榛東南部こども園の教育・保育に関する保護者及び職員アンケート結果

そう思う　ほぼそう思う　あまりそう思わない　思わない　わからない

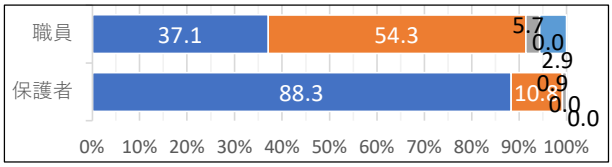
2-(1) あなたのお子さんは、喜んで園に登園していますか。



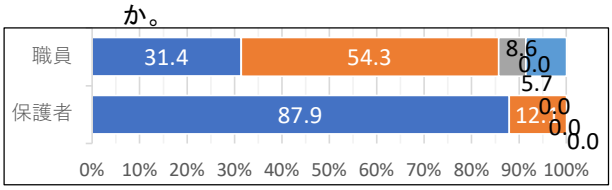
2-(2) 園では、子どもたちが友達と一緒に遊び、刺激を受けながら共に過ごす楽しさを味わう保育を行っていると思いますか。



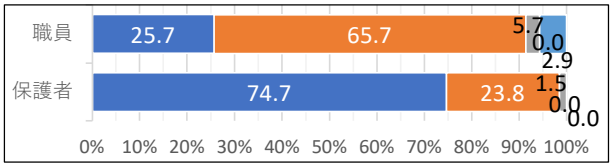
2-(3) 園では、子どもたちが遊びや集団生活に必要なきまりを知り、守ろうとする態度を育てようとしていますか。



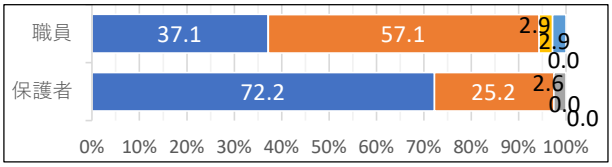
2-(4) 園では、子どもたちが様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などを育てようとしていると思いますか。



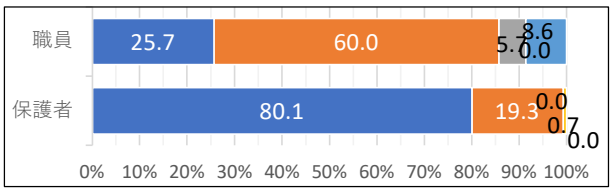
2-(5) 園では、子どもたちに思いやりの気持ちや我慢する力などを育てる保育をしていると思いますか。



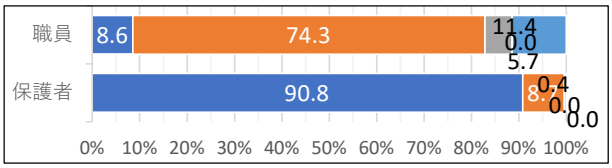
2-(6) 園では、子どもたちに自分からあいさつができるよう保育をしていると思いますか。



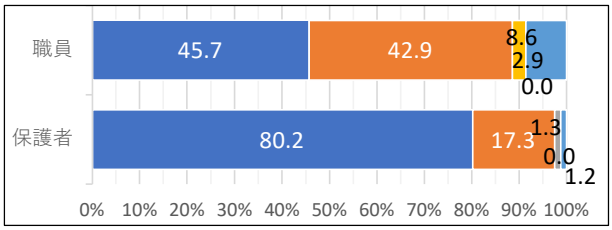
2-(7) 園では、命や自然を大切にする心を育てる保育をしていると思いますか。



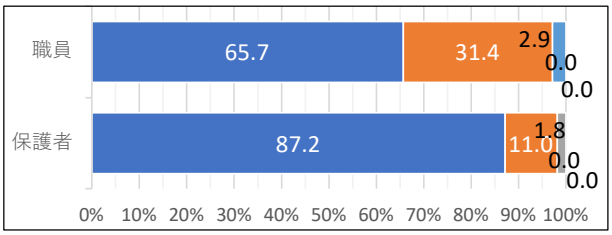
2-(8) 園では、子どもたちが進んで身体を動かし、体力が向上するような保育をしていると思いますか。



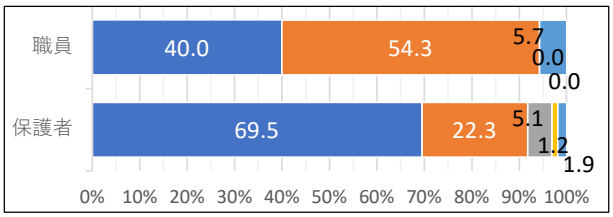
3-(1) あなたのお子さんは、園の行事に喜んで参加していると思いますか。



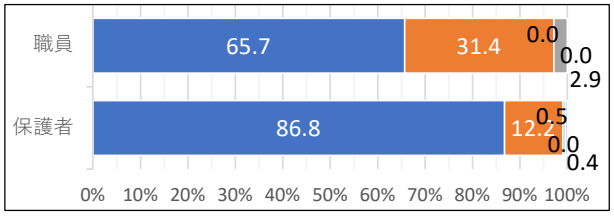
3-(2) 園行事は新型コロナの影響で縮小や削減を余儀なくされましたが、その中でも工夫して実施していたと思いますか。



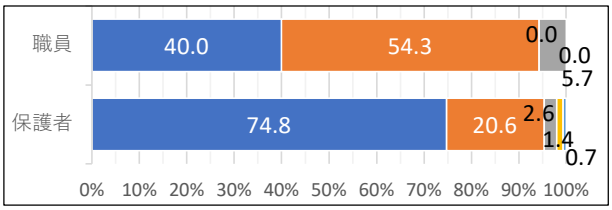
3-(3) 今年度は新型コロナの影響で小学校や地域との連携が十分に行えませんでしたが、新型コロナが収束したら連携の機会を多くしていってほしいと思いますか。



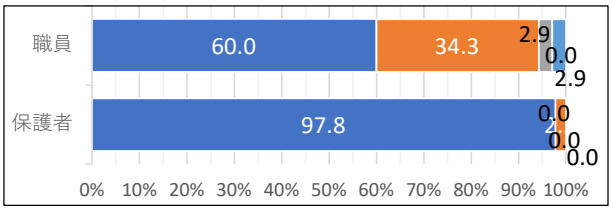
4-(1) 園は、地震や火災、不審者等の問題に対し、適切に対応しようとしていると思いますか。



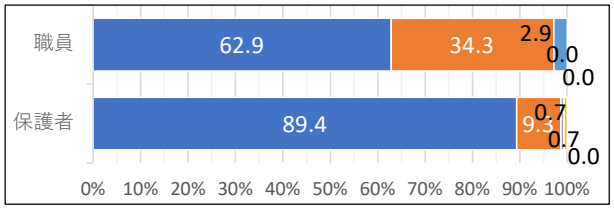
4-(2) 園は、健康管理・感染症等に関し、適切に対応していると思いますか。



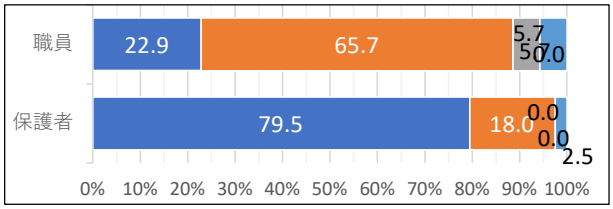
5-(1) 園では、野菜などの栽培を通して、子どもたちに食に対する興味・関心を高めようとしていると思いますか。



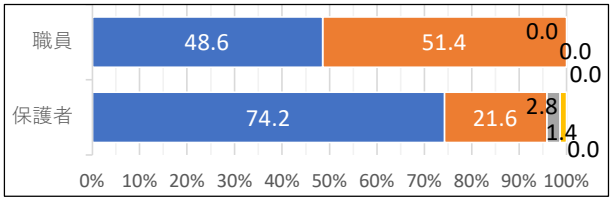
5-(2) 給食は、季節感ある献立内容だと思いますか。



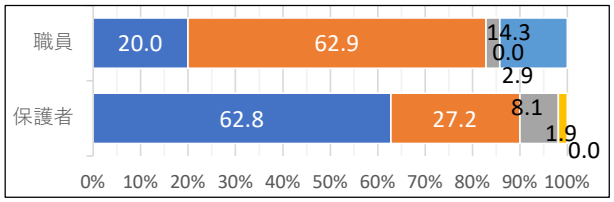
5-(3) 給食では、子どもたちが落ち着いて楽しく食事ができるように心がけていると思いますか。



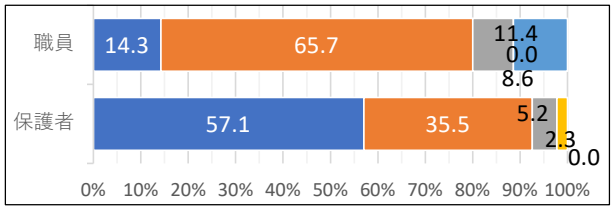
6-(1) 園や各クラスの様子などは、「園だより」や「クラスだより」、ホームページやIacebookなどを通じて、わかりやすく伝えられていると思いますか。



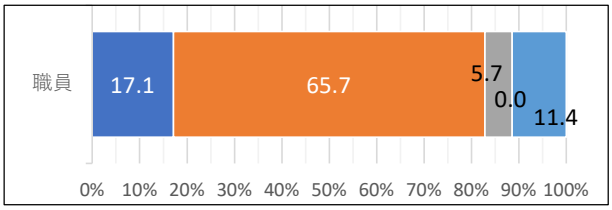
6-(2) 送迎時のお話や連絡帳などで、園や家庭でのお子さんの様子について情報交換がされていると思いますか。



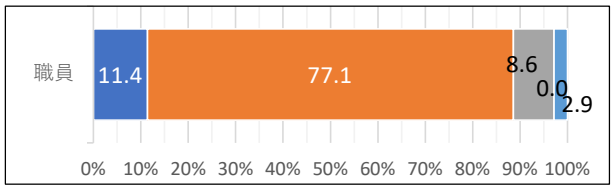
6-(3) 困ったことや気になることがあった時に、気軽に園や担任に相談したり尋ねたりできますか。



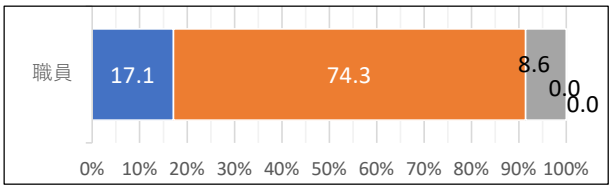
7-(1) 見て分かりやすい表示や安心できる空間作りなどの工夫をすることによって、誰もが過ごしやすい環境を構成するように努力しましたか。（ユニバーサルデザインの見方考え方を生かす）



7-(2) 命令や禁止、否定的な言葉掛けはせず、肯定的な言葉掛けを行い、子どもたちの「やってみよう」という意欲を育てるようにしましたか。



7-(3) 職員一人一人が大切にされ、働きやすい職場環境が整えられていると思いますか。



8-(1)　保護者自由記述（抜粋）

○いつもこどもをよく見ていただき、詳しく報告もしていただきありがとうございます。安心して預けさせていただけます。
○コロナ禍で沢山制限があるなかでも先生方がどういう風にしたらこどもたちが喜んで園生活を送れるかなど、色々工夫していただきながら沢山の貴重な体験をさせていただいていることにとても感謝をしております。この時期でしか見られない成長を最大限に引き出してくれたり、本当に感謝してもしきれないほど園長先生をはじめ先生方には頭が上がりません。本当にいつもありがとうございます！その成長を親もいっしょに見守っていきたいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
○毎月の集金が細かい現金なので、口座引き落としやPayPayにするか、キリの良い千円ずつ集金して年度末に端数を調節するか、どちらかして頂けると有難いです。園生活全般において、男女で分けなくても良い所は、分けずにして頂けると嬉しいです。今回のアンケート等、スマホでやって頂けた事が増えて有難いです。
○イヤイヤ期の中、下の子が産まれ赤ちゃん返りもしており大変な毎日でした。先生が子どもに寄り添ってくれて、少しずつ慣れてきて、だんだんと話せる言葉も増えてきて思いを伝えてくれるようになってきました。私の話もよく聞いてくれて、先生方にとても感謝しています。ありがとうございます。
○行事等で用意する衣装の連絡が1週間をきっている事が多かったです。先生方もお忙しい中での事とは分かっているのですが間に合わず困る事もあるのでもう少しだけ早く連絡をいただけると助かります。
○遅番の際に一日の様子が伝えられない。先生同士の情報共有がされていない。日程の連絡漏れや、連絡が直近過ぎる。クラス担任によって、対応の差がある。ジェンダーや国際化に対応した教育を積極的に取り入れて欲しい。性被害防止の教育やら啓発やら何かをして欲しいです。

8-(2)　職員自由記述（抜粋）

○保育参観について、以前のように保育参観日を設けて給食の様子を見ていただくのも良いのではないか、試食もかねて。
○生きている物に興味だけでなく慈愛を持てる教育も必要だと思います。生きている物の意味を教える事は道徳に繋がると思います。
○園行事と村で行われる行事が重なったり、日付が近かったりと、慌ただしかった月があった。
○朝の片付けの音楽がなると片付けをしないで、並ぶ職員、クラスがあった。保育教諭が手本になって片付けをする姿を見せるのが大切と思う。
○園庭に色水あそびなどで使える、草花を育てられる環境を作ってほしい。
○年々、働きやすくなっていると思います。ありがとうございます。
○行事や季節で用意された花などが、数日すると、隅に置かれて枯れそうなっていることがあるのを良く見かける。

4　自己評価結果のまとめ

○見て分かりやすい表示や安心できる空間作りなどの工夫をすることによって、誰もが過ごしやすい環境を構成する。（ユニバーサルデザインの見方考え方を生かす）

榛東村人権教育公開保育研究会（新型コロナのため公開はせず、プレゼンによる発表のみとなったが）以来、園児一人一人に応じた支援を心がけてきたが、職員の意識も次第に高まり、各クラスでは子どもたち一人一人が主体的に遊びに関われるようなコーナー作りや手作りおもちゃの製作なども進んできている。また、言葉での理解だけでなく、視覚的に分かりやすいイラストや時系列での支援などもできるよう、マグネットタイプのパーティションの導入も図られている。

職員アンケートの７－（１）を見ると、肯定的に捉えている職員が約8割ほどであるが、内訳を見ると、事務職員や給食担当職員等は、各クラスの保育内容までは詳しく知ることができないので、「分からない」と回答しており、実態とするともう少し職員の意識の高まりはあると考えられる。今後も、引き続き、誰にとっても分かりやすく過ごしやすい保育環境を整え、一人一人の園児の自己実現ができるよう働きかけていきたいと考える。

評価　　A’

○命令や禁止、否定的な言葉掛けはせず、肯定的な言葉掛けを行い、子どもたちの「やってみよう」という意欲を育てるようにする。

昨年度に引き続き、「多様な子どもたちの生活が豊かになるよう個々の発達支援を考える　～様々な発達支援のケーススタディを通して」として園内研修を進めてきた。その一環として、一人一人の子どもたちに対して、「ダメ」や「しなさい！」というような命令や禁止語ではなく、子どもの状況を踏まえつつ、優しく「～しましょう」「スゴいね」「それいいね」などの肯定的な言葉がけをするようにしてきた。７－（２）のアンケート結果を見ると、88％の職員が意識して対応できていたとする結果となった。保護者アンケートからも、職員が丁寧に子どもたちに接していることへの感謝のコメントが複数寄せられている。ただ、一方で全員全てが同一歩調で子どもたちの対応できていないこともあったので、今後も一人一人の意欲を引き出すための言葉がけ等について、研修を深め実践できるようにしていきたい。

評価　　A’

５　総合評価　　A’

令和５年度においても、本園の教育・保育に関する取組状況は概ね良好であったと考える。
特に、２年間継続して取り組んできた「榛東村人権教育公開保育」についての研修内容を、さらに深化させる意味で、藤原里美先生の「多様な子どもたちの発達支援　園内研修ガイド　～特性を理解して支援する環境づくり」の輪読を通して、誰もが過ごしやすい環境づくりをテーマに、学びを深めてきた。そのうち、一つはみんなに分かりやすい支援の在り方として、ユニバーサルデザインの手法を取り入れるとともに、もう一つは、職員の子どもたちに対する根本姿勢に関する内容を重点として設定してきた。
職員全体を通して、様々な工夫を試みてきたつもりではあるが、まだまだ不十分なところも多く、個々の子どもたちの課題に対応しきれていないことも多かった。今後も、こうした内容の基本姿勢を忘れず、職員全員への周知・研修の手段を構築して、結果的に子どもたちの最善の利益になるよう取り組んでいきたいと思う。